

令和8年度神奈川県職員採用説明会 総合土木(農業土木職)

令和8年3月9日

環境農政局 農水産部

農地課 基盤整備G 技師 立石由紀恵

自己紹介 & 経歴

◆名前 立石 由紀恵

◆出身 東京都

◆大学での専攻 農業土木

◆入庁年度 2018年度（現在入庁8年目）

志望した理由

大学時代に農業土木系の研究をしたことを活かせる職種を探す中で、神奈川県では多種多様な事業に関われるのでは、と思い志望しました。

◆経歴

2018年4月

県央地域県政総合センター 農政部 農地課に配属

2022年4月

環境農政局 農水産部 農地課 基盤整備Gに配属

※うち2回、計2年ほど産休・育休を取得。

農業土木職の業務①

・地域の特色を生かした農林水産業

神奈川県では、地域の特色を生かした多彩な農林水産業が営まれています。

県央地区

都市化が進む中でも豊かな森林と田園風景が残り、消費地に立地する特性を生かして、米、大豆、野菜、鶏卵など、いろいろな農産物が生産され、直売所などで地元の住民に供給されています。

最近では、都市農業や森林の大切さを理解してもらうようなイベントや体験農園なども数多く開かれ、生産者と都市住民の交流も盛んです。



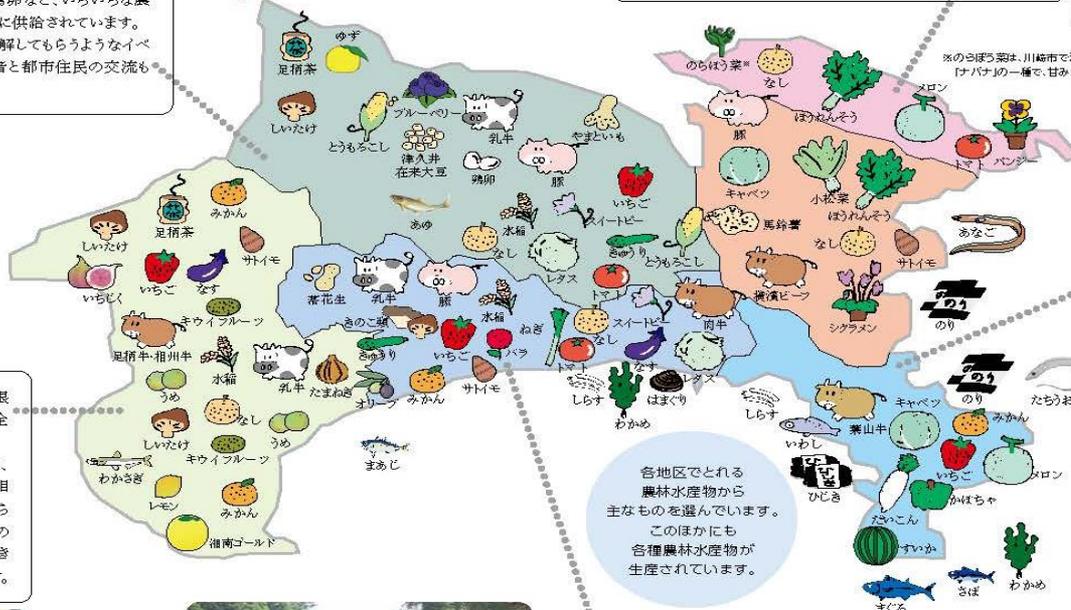
県西地区

海・山・川の自然豊かな地域で、丹沢、箱根、外輪山の森林地帯は水源かん養や景観保全の役割を果たしています。

米、みかん、キウイフルーツ、なし、うめ、茶、しいたけ、牛乳・牛肉など多彩な農産物や、相模湾からまあじなどの新鮮な水産物がもたらされており、その味覚を求めて訪れる多くの観光客もいます。特に本県で育成したかんきつ「湘南ゴールド」は特産品となっています。



県内農林水産物イラストマップ



横浜川崎地区

県内で最も都市化の進んだ地域ですが、多様な農産物の生産が行われており、大消費地に立地する利点を生かし、市場出荷の他、農協や個人農家による直売が盛んです。また、観光農園、農業体験農園など県民参加型農業経営が行われています。

東京湾では底びき網やあなご筒などの漁業や、のりなどの海藻養殖も盛んに行われています。



※のらぼう菜は、川崎市で江戸時代から栽培されている「バナナ」の一種で、目が強いのが特徴です。

横須賀三浦地区

温暖な気候を生かし、三浦半島の台地に広がる畑作地帯でだいこんやキャベツなどが栽培され、本県を代表する全国有数の露地野菜産地です。

また、遠洋、沖合、沿岸漁業とともに盛んで、全国トップクラスの生産額を誇る三崎漁港をはじめ、きんめだい、さばなどを水揚げする大小の漁があり、わかめなどの海藻養殖・しらす加工も盛んです。畜産では、栗山牛が有名です。



湘南地区

トマトやいちご、花きなどの施設園芸、果樹、畜産等の多様な農業経営が見られ、水系に恵まれ、米は県内の主産地になっており、露地野菜の生産も盛んです。しいたけやひらたけなど、きのこ類の生産も盛んで、山間部では、間伐材の搬出が活発に行われ、相模湾沿岸部では、わかめの養殖や、しらす漁などが行われています。

各所に直売所が置かれ、朝市や観光農園、観光地引網などの取組も盛んで、新鮮な農林水産物が食卓に届けられています。



農業土木職は、この「魅力ある農業」を次世代に引き継ぐため、生産基盤の整備等を行っています！

広域農道整備事業 小田原湯河原地区



掘削後の高さの確認

段階的な現地確認で、
手戻りのないよう
工事を進めます！

県営ほ場整備事業 内山地区



施工前



施工中



施工後

里地里山の保全活動への支援



里山を利用した
イベント等により、
地域振興を
図ります！



これまでの主な業務

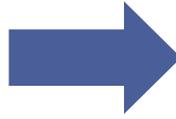
1年目：昭和用水路の機能診断業務委託

2年目～：農業水利施設予防保全事業 小沢地区



5年目～：各事業の進捗管理と予算調整

この仕事のやりがい



施工前

老朽化が進行し施設の維持管理に支障があった

施工後

安定した農業用水の供給の維持が可能に

自分が担当した農業用施設を地元の方々が使っていることを実感

業務について

◆ 1日の業務の流れ

09:30

出勤

子育てのため
育児休暇制度を活用！

}

メールチェック・1日のタスク整理



事務所や国からの問合せ対応

12:00

昼休み

グループの職員と
お昼会を実施することも！



13:00

}

国が主催する会議に出席



16:15

退庁

1日の作業成果の振り返り・書類整理等

主な勤務先（農業土木職）

- ★ 県庁
- ① 横浜川崎地区農政事務所
- ② 横須賀三浦地域県政総合センター
- ③ 県央地域県政総合センター
- ④ 湘南地域県政総合センター
- ⑤ 県西地域県政総合センター
（小田原合同庁舎）
- ⑥ 県西地域県政総合センター
（足柄上合同庁舎）



○農業土木職の状況

- ・本県の農業土木職員：**57人**
（うち女性職員**8名**）
- ・総合土木職から年に数名程度採用

※職員の数人は令和7年4月1日現在

出典：神奈川県ホームページ

農業土木職のここがいい！



県民の食を支え



次の世代に美しい環境を残す

県民の暮らしを守り

未来へ繋ぐ農業土木職員

生活にゆとりを与え

40アール区画に整備し、農作業の大幅な省力化が図られた畑(三戸小綱代地区)(三浦市)

地域、県民のニーズに応じて、**地域農業基盤をトータルでコーディネートします！！**

ご清聴ありがとうございました

かながわ農業農村整備のマスコットガール
「とっちーちゃん」

